

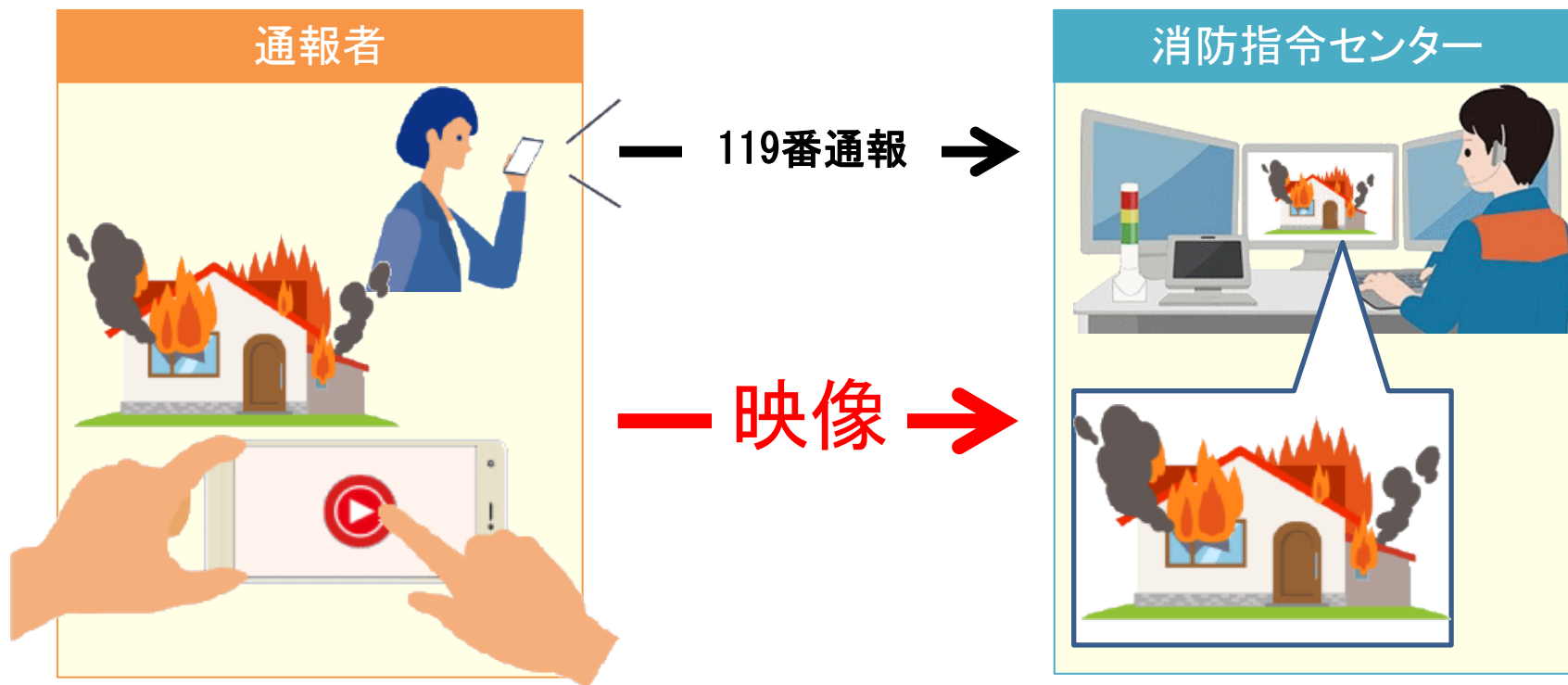
映像通報システム（Live119）の 実証実験について

～119番通報を「見える化」する～



令和5年6月27日(火)
消防局 通信指令課

システムの概要



119番通報を「見える化」する

スケジュール

実証実験開始日：令和5年5月8日（月）

	4月	5月	9月
実証実験		8日 実証実験開始	実証実験の取りまとめ
広報活動	22日 ホームページ公開 23日 びわ湖放送 「光ル☆おおつ」出演 26日 市長定例記者会見	広報おおつ(5月1日号) 取材対応 ・ 京都新聞 ・ 朝日新聞 ・ 毎日新聞 ・ 中日新聞 ・ 読売新聞 ・ NHK大津放送局	

- 全消防職員を対象に取扱い訓練を実施

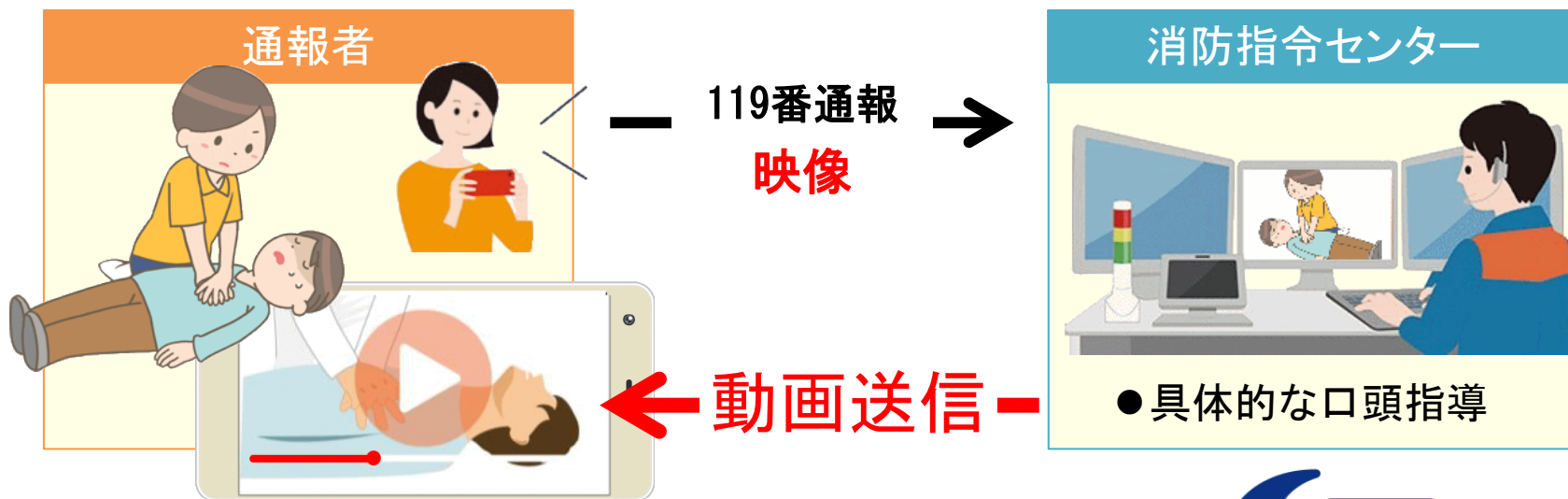
導入実績：全国 75 消防本部（令和5年5月現在）

	消防本部
特別区	東京消防庁
政令指定都市	川崎市、大阪市、神戸市、岡山市、福岡市、熊本市
近畿圏	京都府：京田辺市、京丹後市 大阪府： <u>豊中市</u> 、池田市 兵庫県： <u>神戸市</u> 、小野市、 <u>西宮市</u> 、 <u>姫路市</u> 、美方広域

● 下線は「中核市」

活用例①

- ✓ 具体的な口頭指導
- ✓ 救命率の向上



救急隊の現場到着までの時間を有効活用

- ▶ 早期搬送・早期医療介入
- ▶ 映像を活用した具体的な口頭指導
- ▶ 効果的な応急手当

共有

救急隊



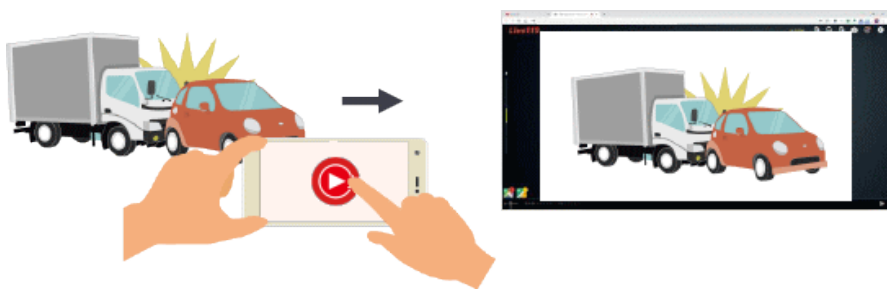
- 必要機材準備
- 病院との連携

活用例②

- ✓ 意思決定の支援
- ✓ 災害状況の早期把握

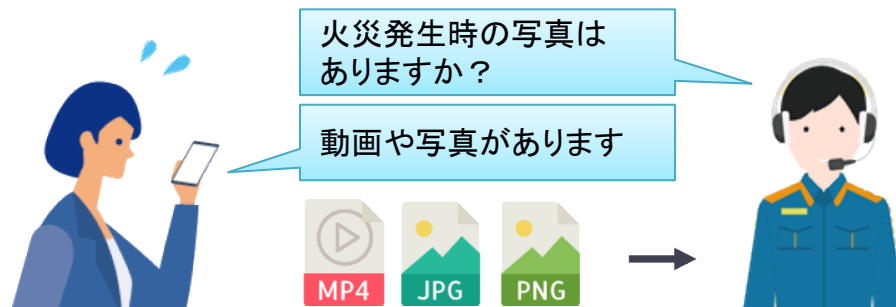
交通事故

事故現場からの通報に映像情報を加えることで、救助隊や救急隊の追加判断を迅速に行う



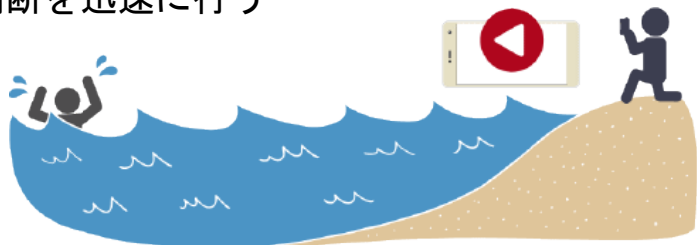
火災

通報者が多数いる場合には、複数の動画や写真を受け取ることができ、多方面から情報を収集する



水難救助

水深や流れの速さを映像で確認し、要救助者が流される先へ水難救助隊を派遣するなど、意思決定の判断を迅速に行う



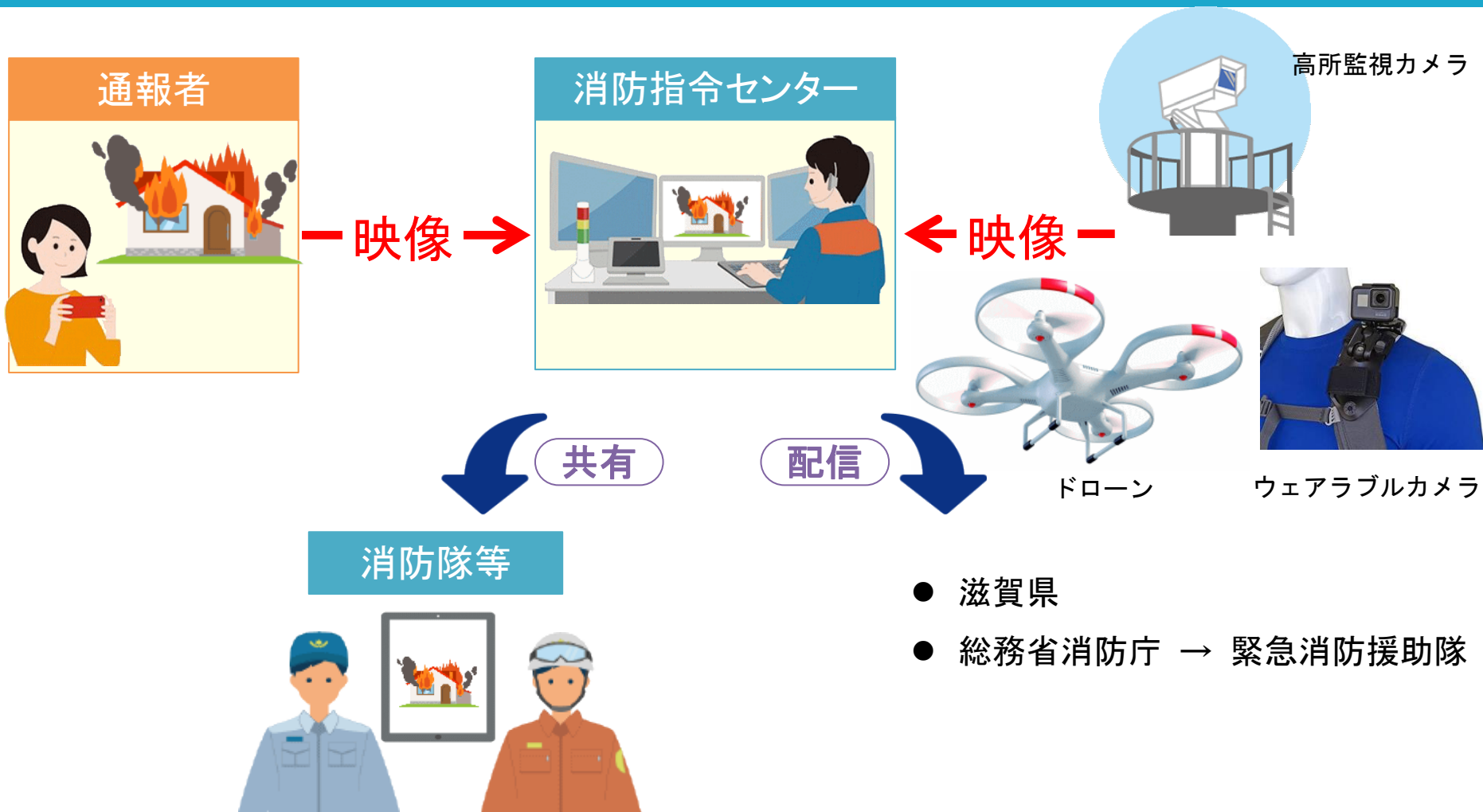
山岳救助

災害発生場所の特定が困難な場合に、スマートフォンの位置情報を取得して Google マップで確認する



活用例③

- ✓ 災害状況の共有
- ✓ 円滑な消防活動



経過報告

火災

- 燃え広がっているのが確認でき、早期に消防隊を増強し火災の拡大を防止した

救助

- 交通事故により大破した事故車内で意識のない負傷者が確認できたため、早期にドクターヘリを要請した

救急

- 広範囲な火傷を映像で確認し、具体的な口頭指導と効果的な応急手当が実施できた

- ✓ 災害による被害の軽減と救命率の向上
- ✓ 消防指令センターを核とした災害対応力の向上